

令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	子どもの健全育成を目的とした「命の授業」事業
事業主体 (連絡先)	ジングルライダー 長野県飯田市北方3872-11
事業区分	(4)安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,252,418 円

事業内容

有害鳥獣の鹿革を活用し、反射材の交通安全のお守りをワークショップ形式で作製し、反射材着用の重要性を教えながら、自分の命や家族の命を守る大切さを伝えました。

商業施設、イベント、教育機関など25カ所で3400枚製作配布しました。



伊賀良文化祭

【目標・ねらい】

- ①有害鳥獣の鹿革活用
- ②地域との連携
- ③子供たちに居場所作り
- ④反射材の普及

事業効果

- ①有害鳥獣の鹿革を使うことで有害鳥獣被害について興味を持ってもらい、獨協大学の経済学部のゼミと共同で課題研究として取り組みことになりました。
- ②今までにない、ワークショップで自発的な交通安全活動で高い評価を頂き、伊賀良町作り安全委員会と連携をとり合い今後も伊賀良文化祭でこの事業を続けていくことになりました。
- ③この事業の先に子供たちの居場所作りという目標があり、事業を通して子ども食堂に繋がる協力団体との連携ができました。
- ④数ある交通安全指導の中で反射材に特化したことにより、子供たちに分かりやすく説明でき、子供たちから家庭へ有効的に伝えることができました。

※自己評価【A】

【理由】

飯田市、豊丘村、高森町、阿智村、根羽村と幅広く、さらに上伊那郡、埼玉県で計画以上に活動することができました。

今後の取り組み

この事業は有害鳥獣被害が多く、皮革産業の地域だったからこそできた事業でした。有害鳥獣の鹿革活用は全国的にもなく、そういう意味では活用法の第一歩になったと思います。ただ配布するだけの交通安全啓発ではなく、自らお守りを作り、家族の分も作ることで自発的に事業に参加できる方法が、活動するとしても高い評価を頂き、次年度も依頼を頂きました。事業前からすでに連携がとれていた協力団体、今回はじめて連携できた協力団体とさらに協議を重ねて有害鳥獣の鹿の活用法、反射材の普及活動に磨きをかけて、子供の育成健全を目的とした「子供たちの居場所作り」に繋げていきたいと考えています。